

# 南小だより

[minamiurawa-e@saitama-city.ed.jp](mailto:minamiurawa-e@saitama-city.ed.jp)

令和3年10月29日

11月号

さいたま市立南浦和小学校  
電話 048-861-3781



## 自分のためにあいさつを

校長 小野 圭司

私は朝からの出張等がない日には毎日、登校の見守りをしています。月曜日には西門から左に出て坂を下り切った場所で、水曜日には神明社横の交差点で、火・木曜日にはその交差点の坂を南に一つ下った交差点で、金曜日には正門を左に出て地蔵坂との交差点で、あいさつ運動も併せて行っています。その際に、子どもたちや地域の皆様から元気なあいさつ、温かなあいさつをいただいています。したがって、あいさつは他者に元気を与えてくれる素晴らしいコミュニケーションの一つだと常々感じていました。

しかし、先日、さいたま市教育委員会による「指導訪問」というものがあり、本校の子どもたちの課題として「あいさつ」を挙げたところ、次のような指導を受けました。それは、「自分のためにあいさつをするよう子どもたちに話してみてもどうか」という提案でした。「自分の気持ちを明るく前向きにするために、あいさつをするのです。」と担当者は言葉を続けました。私は「なるほど」と思いました。私は子どもたちがきちんとあいさつのできる子に育ててほしいと思いながら毎日あいさつを掛けていましたが、やはりあいさつは誰かに言われてやるものではなく、自らの意思でやるものではないかと考えます。確かに毎日あいさつをすることで私自身、明るく前向きな気持ちになっていたように思います。私自身が実感としてあるため、「自分のために」ということをもう少し強調してもよいのではないかとという新しい考え方もつことができました。10月25日（月）の一斉下校の折に、子どもたちにもこの話をしてみたところ、次の日から少し明るく元気なあいさつが増えたように思います。

学校では、どちらかという他者への思いやりや他者と揃えることなどを重視するような指導が多いように思います。「相手のことを考えて」「みんなに合わせて」などです。もちろん、この考え方は社会で生きていくためにはとても重要なことだと思いますが、今後は一層の主体的な行動になるよう「自分のために」も大切にしながら指導をしてまいります。

10月7日（木）には、第1回学校運営協議会準備委員会を開催しました。これは、令和4年度からさいたま市のすべての市立学校で「コミュニティ・スクール」を実施することとなっており、本校も来年度からの実施に向けて準備をするための会議のことです。その中で、「本校の子どもたちに身に付けさせたい力」について熟議をしたところ、あいさつについても話題となりました。元気なあいさつを含め、子どもたちには自ら「チャレンジ」するような力を身に付けてほしいという意見にまとまりました。やはり本校の子どもたちのことをテーマとしたせいか、多様な意見が出されました。また、和やかな雰囲気の中、会議を終えることもできました。委員の皆様、本当にありがとうございました。

